



Call for Papers

博士課程学生のためのドクトラル・ワークショップ
2013年9月18日、東京 早稲田大学
国際ジョイントカンファレンス（2013年9月19日～20日）に先駆けて開催

主催：学会「企業と社会フォーラム」(JFBS)
共催：フンボルト大学国際 CSR カンファレンス (HU CSR)およびベルリン日独センター (JDZB)

学会「企業と社会フォーラム」(JFBS)は「CSRとコーポレートガバナンス」を統一テーマとする国際ジョイントカンファレンスを2013年9月19日～20日に、そして博士課程学生のためのドクトラル・ワークショップを2013年9月18日に、東京 早稲田大学にて開催致します。
(企業と社会フォーラムは2011年5月に設立された学会です。詳細は<http://j-fbs.jp/en.html> 参照。)

本ドクトラル・ワークショップは、博士課程学生を対象に、示唆に満ちた学術的・実践的コミュニティの中で各自の研究成果を報告し議論を行うという、ユニークな機会を提供するものです。本ワークショップでは特に、グローバルレベルでのCSR経営とガバナンスという、分野横断型の研究を扱います。CSRが求められるグローバルな課題を解決していくために、法律学、経営学、経済学など様々な社会科学分野からの報告をお待ちしております。

プロポーザルで扱うテーマは下記のようなものが挙げられますが、これに留まるものではありません：

- 戦略的サステナビリティマネジメント
- CSRとコーポレートガバナンスの関係性
- コーポレートガバナンスの比較研究
- マルチステイクホルダーガバナンスの新しい形
- CSRあるいは／およびコーポレートガバナンスの未来
- 責任ある経営と統合レポート
- 責任あるサプライチェーンマネジメント
- サステナビリティにかかわる課題と社会における企業

■参加手続き

本ワークショップに参加いただくには、下記を提出頂き、プログラム委員会による審査を通過する必要があります（本ワークショップは英語のみで行われます。同時通訳はありません）。

【提出いただくもの】

- 500単語のアブストラクト
- プロポーザル（博士課程における研究進捗、リサーチクエスション、中心的な命題、研究手法、をA4サイズ1ページにまとめること）
- 最新のCV
- 指導教官名
- 博士課程に在籍していることを証明するもの

アブストラクト、プロポーザル、CVはそれぞれ別々のPDFファイルに保存し、提出物一式を2013年5月31日までに、企業と社会フォーラム事務局(info@j-fbs.jp)宛てに提出すること。
プログラム委員会による審査結果は、2013年6月30日までにe-mailにより通知されます。

審査通過者として、ワークショップにおいて研究報告を行う者は、3,000単語のペーパーを提出する事が求められます。ペーパーは、2013年8月31日までに事務局宛てに提出すること。

Conference Website: http://j-fbs.jp/annualconf_2013.html



ワークショップ当日は、研究報告 20 分間、議論 20 分間、という時間配分で行われます。当日、報告者以外の学生も少人数、本ワークショップにゲストとして参加し、議論に参画することができます。ゲスト参加希望者は、ゲスト参加希望の旨を書き添え、上記の提出物を事務局宛に送ること。

■参加費

ワークショップ参加者は、特別割引参加費 5,000 円を支払い、参加登録を行わなければならない。参加者は本ワークショップだけでなく、翌日 19 日～20 日開催のジョイント・カンファレンスにも参加することができる。旅費および宿泊費は自己負担とする。

■ご連絡・お問合せ先

本ジョイントカンファレンスに関するご連絡・お問合せは：
学会「企業と社会フォーラム」（JFBS）事務局
担当：齊藤 紀子
n.saito@j-fbs.jp

■プログラム委員会

- Joachim Schwalbach (Professor, Humboldt-University of Berlin, Germany)
- Nick Barter (Senior Lecturer, Griffith University, Australia)
- Wanjun Jiang (Associate Professor, Peking University, China)
- Gregory Jackson (Professor, Freie Universität Berlin, Germany)
- 鎗目 雅 (東京大学准教授)
- 谷本 寛治 (早稲田大学商学大学院商学部教授)